

子育てを 楽しもう

地域子育て支援センター

(太田第二保育園内)

開館時間 9:00~12:00 13:30~15:00
休館日 土・日・祝日
電話 25-2282
子育て相談 9:00~16:00(土・日・祝日以外)
対象 就園前の子とその親・祖父母

親子教室の募集!

親子で一緒に学びあい、子育ての楽しさや喜びを共感しあいましょう。
◇とき 午前10時~正午
◇定員 0歳~2歳児の各クラス50組
◇対象 市内在住の未就園児とその親
◇申込み 5月13日(火)から16日(金)までに、直接来園してください

(園庭開放)

親子教室のない日に、工作、体操、手遊び、シアターなどを行っています。
赤ちゃんDay 毎週金曜日
2カ月~歩く前の子と親・祖父母対象
よちよちDay 毎週水曜日
歩き始めの子と親・祖父母対象
てくてくDay 毎週月曜日
走って遊べる子と親・祖父母対象
異年齢の園庭開放 毎週火・木曜日
0歳~就園前の子と親・祖父母対象

保育園で遊ぼう

市内の公立保育園では、保育園や幼稚園に、まだ入園していない親子の遊び場として、保育園の園庭を開放しています。近所に友だちがいない人、広い園庭でのびのびと遊ばせたい人など、みんなで遊びに来てください。子育ての相談にも応じますので、気軽に職員に声を掛けてください。



▲園庭で遊ぶ子どもたち

保育園名	実施曜日と時間	電話番号
太田第一	水・金曜日 10:00~11:30	25-2642
太田第二	火・木曜日 9:00~15:00	25-2282
古井第一	火曜日 9:30~12:00	25-2746
古井第二	水曜日 9:30~11:30	26-1986
山之上	火・木曜日 10:00~11:30	25-4555
蜂屋	火・金曜日 9:00~11:30	25-4554
加茂野	月~土曜日 9:00~17:00	26-9813
伊深	月・水曜日 8:45~11:00	29-1768
三和	火・木曜日 9:00~11:00	29-1769
下米田	火曜日 9:00~11:00	26-9111

※各保育園の行事などの関係で変更になることがあります

サンサンルーム

開館時間 9:00~16:30
休館日 日・祝日
電話 27-6555
子育て相談 9:00~16:30(平日のみ)

(おはなし広場)

毎週火曜日
毎月第3火曜日は、よみきかせボランティアの人がお話をしてくれます。いつもとは一味違ったお話が聞けます。

(遊びの広場)

毎週金曜日
※いずれも、午前10時30分~

(発育測定)

14日(水) 午前10時30分~11時30分

そのほかの子育てサロン会場

すくすくルーム (みのかも健康の森) 毎週月・火曜日
にこにこルーム (津田左右吉博士記念館) 毎週木・金曜日
※開館時間は、いずれも午前10時から午後3時まで

加茂野児童館

開館時間 9:00~正午 13:00~17:00
休館日 日・祝日
☆土曜日は、一日開いています
電話 28-8878
子育て相談 9:00~16:30(日・祝日以外)

(未就園児対象)

なかよしデー 9日(金) 午前11時~11時45分
ミニミニ劇場 7日(水) 午前11時~11時30分
※読み聞かせは随時行っています

(誰でも)

児童館まつり 31日(土) 午前9時~正午

行事のある日でも
児童クラブ室で
遊べます

(小学生対象)

囲碁クラブ 毎週土曜日 午前9時~10時
リトルクラブ 24日(土) 午後1時30分~2時30分
※新コーナーでいろんな体験をするクラブです

みんなの
参加を
待っています



学校訪問 34

山之上小学校



oh!

マイ、
スクール



山之上小学校6年
井川 奈菜さん

新しい伝統

私たちは、三月に行った「六年生を送る会」で、『通学班でちゃんと並ぶ』、『しゃべらず掃除をしてきれいな学校』、『仲間と助け合う』、『あいさつと歌声の響く学校』の四つの宣言をし、山之上小学校のリーダーを引き継ぎました。宣言したことに全力で取り組み、山之上小学校をもっと良くしていこうと、クラスのみんなが決意しました。

一つ目の『通学班でちゃんと並ぶ』は、これまでの六年生が一番苦労してきたことです。班長の呼びかけに添えてくれなくて、困っていました。今年は、私たちが班長なので、班員が上手に並んでくれるように工夫して、登校時間を守っていきます。

二つ目の『しゃべらず掃除』は、昨年もういふるな取り組みをして、きちんと掃除をしようとしたが、取り組み期間の時だけががんばったような気がしました。これからは、いつでも『しゃべらず掃除』をして、誰が見ても『きれい』だと言ってもらえる学校にします。

三つ目の『仲間と助け合う』は、他の宣言全てに必要なことです。どんなことも協力してやり抜き、成功させます。

四つ目の『あいさつと歌声の響く学校』は、大きな声のあいさつや、聴く人が感動する歌声を届けて、山之上に来て下さった人たちに、「すごーい」と言ってもらえるようにします。

全ての宣言を達成して、私たちが新しい『けやき』のようにたくましい『山之上小』の伝統を創ります。そして、それを下級生にも引き継いでいってほしいように、仲間と力を合わせてがんばっていきます。

だんらん

第109話

孫のしつけ

「やれやれやっと帰ったか。孫が帰るとほっとするなあ」
「何言ってるの、今度はいつ来るかいつ来るかってうるさいの」

無責任なものである。いればうるさい、いなければ寂しい、どちらが本音なのか分からなくなる。

「ジイジ、バババ大好きなんて言われて相手をしているときは、こちらもつい甘いくなり、せつせと本やおもちゃを買って、ご機嫌うかがいをしている。しかしである。機嫌が悪くこちらの言うことを聞かなくなる、ほとほと相手をするのが嫌になってしまふ。そんなときには、孫の欠点ばかりが見えてくる。そして、一刻も早くこの場から逃げたくなる。」

「へずる時は言うことを無視して泣かせようといに厳しくしなアカン」
「子どもに負けてつい要求を認

めてしまうからあかんのや。親のしつけが甘いんや」
自分の孫に対する接し方を顧みず、責任を親に押しつけてしまふ。

「お父さんは、仕事忙しいといつて、わたしたちとはあまり遊んでくれなかったね」と娘に言われては、孫のしつけに意見を言う資格もない自分であるが。

「ママがいい。ジイジいらない」
どんなに嫌なことがあっても子どもにとって親は絶対的存在である。母親に抱かれていたときの安心した表情を見ると、親の子どもに及ぼす力の大きさを感じる。

「ジイジ大好き」
もう少し孫には厳しくしようなどという考えはどこかへ飛んでいってしまい、甘い、にやけたジイジになっている。

(文責 安藤)

